

事業所名

まなび猫

支援プログラム（参考様式）

作成日

7

年

2

月

28

日

法人（事業所）理念	・生きがいを感じ、自分らしく社会の一員に ・みんな違って、みんないい、尊重し合える社会へ ・地域でつながり、自分の夢を実現しよう		
支援方針	子供さんの一人一人に合わせた、支援を丁寧に行っていきます。 視覚による支援、（スケジュール、ルールへの提示、絵カード等）構造化支援 保護者の方の思いを傾聴し、子供さんの支援に反映させていただきます。		
営業時間	9 時	0 分から	17 時 30 分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日常の健康について、登所時のバイタルチェック 手洗い、検温、子供さんの体調観察、ご本人からの体調の聞き取り 生活習慣として、あいさつ、自分の持ち物の片付け、宿題、… 自分で使ったものの後片付け、お友だちの分も一緒に後片付け 降所用意 個別相談 子供さんの困り感などに対応する。（学校について、家庭について、友達との悩み、生理などについてわからない事、SST） 主に長期休み時に、その他の身の回りについての自立を促しています。食事マナー交通マナー等	
	運動・感覚	粗大、微細運動を取り入れながら、体を動かすゲーム、リズム遊び、スポーツ、手先等を使う制作やゲームをしています。 グループで体を使って楽しく遊び、連帯感や、ルールの重要性、体の使い方などを身に付けています。 制作では、視覚での制作手順として、イラストや、動画を繰り返してみる事、文字での手順書を読み取るなどし、作り上げ、達成感をあじわいながら、能力向上を目指しています。	
	認知・行動	子供さんの発達に合わせた介入を行っています。（日にち、天気、季節、時間、数、指示理解等） おもちゃを使ってのごっこ遊び、ブロックなどでの創作遊び、小集団でのゲーム等、活動の中で適切な行動を学びます。 パソコンを取り入れた活動タイピング各種基本的な操作、ネットリテラシー 食育活動で、みんなと食べる楽しさを通して、偏食などを見直す機会にする。	
	言語 コミュニケーション	あいさつや場面に応じた言葉遣い 1対1または小集団の中で行動する事で生じる感情を表現、また表出できるように支援する。 相手の話を聞く、人の前で話す練習（朝礼、帰りの会、ロールプレイング）	
	人間関係 社会性	子供たち支援者との信頼関係、子供たちの居場所になる。 あそびを通して人との関わりや接し方を学ぶ 個別で取り組むSSTにて関わり方、コミュニケーションなど 活動の中で反映を目指す。 心を落ち着ける場所づくり、リラックスルーム、センサリールームを活用しながら、癒しや気持ちの切り替えをしていく。	
家族支援	ご利用後にご家族にその日の様子をお伝えする。（送迎時） ご家族に心配事や困りごとがある場合、相談を受け、助言を行ったりします。 （家族サポート）	移行支援	就学、進路に関する情報提供を行います。
地域支援・地域連携	法人内の各施設と行事等で交流しています。	職員の質の向上	法人内外の研修に参加しています。
主な行事等	お花見、七夕、水遊び、遠足、ハロウィン、忘年会、節分		